

## 帯広市役所本庁舎・とかちプラザE S C O事業提案審査の講評

帯広市役所本庁舎・とかちプラザE S C O事業は、民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を活用することによって、省エネルギー化の推進による環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであり、広く ESCO 提案を募集したところ、多数の方々から関心を頂きました。

帯広市役所本庁舎・とかちプラザE S C O事業提案審査委員会は、3グループの参加表明者に選考用提案書の提出を求めました。

審査委員会は、提出のあった提案書をもとにプレゼンテーションを受け、ヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り、厳正、かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者に 北電興業グループ（北電興業株式会社、北海電気工事株式会社、高砂熱学工業株式会社（札幌支店）、三洋興熱株式会社、三菱UFJリース株式会社）を選定し、優秀提案者に ダイダングループ（ダイダン株式会社（北海道支店）、池田煖房工業株式会社、川岸電設株式会社）を選定しました。

最優秀提案者は、15年間の利益総額が大きいこと、契約期間中の各年の利益が大きいこと、省エネルギー率が高いことなどが高く評価されました。

優秀提案者は、技術・提案に具体性・妥当性があること、既設機器の更新に係る配慮があること、契約期間終了後の対応について提案があることなどが評価されました。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、多大なるご労力をおかけし、高い技術力と優れたアイデアに基づき、貴重な提案を頂いた応募者の皆様に心から敬意と感謝の意を表するとともに、お礼申し上げます。

平成 19 年 9 月 27 日

帯広市役所本庁舎・とかちプラザE S C O事業提案審査委員会  
委員長 羽山 広文